

小海高等学校生活指導係発行

トイレがその学校を語る

先週の生徒大会でトイレに鏡を設置することが提案されました。その際、過去に「鏡を私物化する生徒がいた」ためにこれまで設置されなかったと説明がありました。今後、もしも同様なことがあれば鏡を再設置することはありませんので大切に使用してください。



さらに、トイレ入口のドアがウェスタンスタイルだった時代もありました。いつ設置されたのかははっきりしませんが、過去にトイレでの喫煙が問題になり、やむをえずドアの上部と下部をなくし、トイレ内の様子が見えるウェスタンスタイルのドアに付け替えられた歴史があります。当時、小海高校を訪問された方はそのドアを見て小海高校の指導の大変さを実感されたに違いありません。

平成3年のコース制導入以来、小海高校の学校改革は着実に実を結び、近年では皆さんも知っているとおり、地域からの信頼も回復されてきました。こうした変革の過程で、5年前にウェスタンスタイルから現在のドアに付け替えが行われました。このことは「落ち着き・安定」を回復した小海高校を象徴する出来事でした。もちろん、その際にも、トイレ内で問題があればドアをもとに戻すという約束がなされました。しかも、何度も付け替えが行われたため、ウェスタンスタイルのドアを付けること自体が困難であると当時の校用技師の先生から指摘されていたことが、平成17年4月に発行された「工芸室の窓から No1」に掲載されています。

では、現在のトイレ使用に問題はないのでしょうか。生活指導係が1日に1回校舎巡回を行っていることは「工芸室の窓から No1 (4/7 発行)」に掲載のとおりです。巡回で気がつくのは、「トイレトペーパーを手ふきに使用していること」「トイレ内の壁を蹴ったり、殴ったりして破損させていること」です。前者については余分なトイレトペーパーを回収していますので、ハンカチを携帯してください。後者については、その都度、校用技師の先生に修理してもらっています。そのため、つぎはぎになっている箇所が多いことは少し注意して見てもらうとすぐわかります。こうした問題も改善できなければ、ドアの逆行につながる恐れのあることです。

平成20年に鏡が再設置されるということは「安定小海」をさらに象徴する出来事だと思います。他の学校へ行ったとき、トイレを見てその学校の状況を推察することができます。不思議なもので、トイレには学校の状況を反映する何かがあります。これからの本校のトイレ状況に期待したいと思います。

5月8日（木）服装・頭髪等身だしなみ指導

2・3年生は4/3の始業式、1年生は4/2の販売日に身だしなみ指導が行われ、改善が進んだところです。前は室内でしたが、今回は雨でなければ、昇降口の外で指導することになります。前回以上に厳しい指導が予想されます。連休後、問題の無いように気をつけてください。